

ミュージアム知覧

館報 第16号

令和2年（2020）3月

〈 官 報 目 次 〉

I. 展示事業	1
1. 常設展示	
2. 企画展示	
II. 教育普及事業	3
1. 博物館講座・教室等	
① こども学芸員活動	
② 学校教職員研修・社会科学習等の利用	
③ 各種講演・講座・研修・史跡めぐり等	
III. 調査・研究活動	7
1. 調査活動・調査指導等	
2. 報告書・図録・刊行物及び市内看板説明等	
3. 発表・執筆等	
IV. 収集活動・資料貸出等	8
1. 寄託・寄贈資料	
① 寄託資料	
② 寄贈資料	
2. 資料貸出及び掲載等許可	
V. 統計資料	10
VI. 組織等	11

1. 展示事業

1. 常設展示



2. 企画展示

平成 29 年度

○地域の歴史と文化を「記録」する

平成 29 年 12 月 23 日～平成 30 年 3 月 24 日

博物館や文化財部局の業務には、収蔵品や文化財の「収集」、「記録」、「保存」、「調査研究」、「公開・活用」という大きな柱があり、この企画展では、「記録」に焦点を当てました。

紙や木で造られたものはもちろんの事、金属製品や野外にある石造物も、時間と共に少しずつ劣化していきます。そのため、文化財の現状を把握するとともに、現在の情報を後世へ遺すため、記録という作業が必要です。「測量」・「拓本」・「実測」・「撮影」という4つの記録法を中心に、使用する道具とともに、記録保存の代表例として南九州市知覧町の川床井堰と知覧飛行場の掩体壕、川辺町の清水磨崖仏に関する地形測量図や実測図、拓本等を展示しました。

また、南九州市文化財保護審議会委員で、写真家の児玉龍郎様からは、南薩地方の民俗行事の写真を提供していただき展示しました。同様に先人が遺してくれた記録や絵図、古い写真から情報を読み取る事も大切な作業です。寄贈・寄託されたミュージアム知覧所蔵資料を中心に、郷土史等に掲載されているものの詳細が分からなかった行事の内容や、新たに判明した文化財にまつわる情報等を展示しました。



平成 30 年度

○村永定観 内に秘めた日本画への情熱

平成 30 年 4 月 28 日～6 月 30 日

村永定観 (1919-1992) は川辺郡知覧町に生まれ、旧制川辺中学校 (現・川辺高等学校) から東京美術学校 (現・東京藝術大学) 日本画科を卒業後、鹿児島県内の高校の美術教師として教鞭をとりながら、鹿児島県を代表する

日本画家の一人として創作活動を行い、また、南日本美術展や県美展の審査員を務めるなど後進の指導にも情熱を傾けました。

定観作品については、平成 6 年 (1994) に鹿児島市立美術館とミュージアム知覧で遺作展が開催されたのを皮切りに、平成 17 年 (2005) に「知覧町出身の日本画家の軌跡-村永定観展-」を平成 22 年 (2010) には「村永定観の世界」を開催しました。また、平成 24 年 (2012) には、夫人である村永真理子氏を取り上げた「昭和の絵物語-村永真理子の絵日記展-」を開催しました。

今回の企画展では、新たに収蔵された「孔雀」(1970) や「花下遊禽」(1972) といった定観の代表的な作品とともに、平成 26 年 (2014) に他界された真理子氏の未公開の絵日記や、夫妻が生前にデッサンやスケッチのために愛用した郷土玩具を併せて展示しました。



○戊辰の記録 西郷の記憶

平成 30 年 7 月 21 日～9 月 24 日

明治維新 150 年にあたり、現在の南九州市地域を構成する穎娃郷・知覧郷・山田郷・川邊郷の人々が体験した、戊辰戦争や西南戦争や西郷隆盛との関係に焦点を当てた展示を企画いたしました。

戊辰戦争では、知覧郷は「私領二番隊」として会津方面、川邊郷は「外城六番隊」越後方面を転戦しました。穎娃郷は戦闘には参加していませんが、東京まで従軍しています。彼らの残した従軍日記には、戦闘の記録だけでなく、大阪や京都、東京等での行動内容を知る事ができます。

西郷隆盛及び西南戦争関係といたしまして、西郷隆盛自筆と伝わる書二点、愛用の刀の他、戊辰戦争従軍者の写真と肖像画、西南戦争時の混乱を伝える史料等や川辺と西郷の関わりを示す地元で伝わる伝承、書籍に記載された記事を展示しました。

西南戦争関連の錦絵は、穎娃歴史民俗資料館に所蔵されていたものです。最後の浮世絵師と呼ばれた月岡芳年や楊州周延の描いたものもあり、



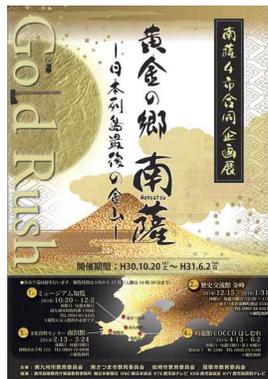
当時の東京や大阪の人々が西郷隆盛や西南戦争に対して、どのようなイメージを持っていたのかを伝える貴重なものです。



○南薩4市合同企画展 1st ミュージアム知覧
黄金の郷 南薩 - 日本列島最後の金山 -
平成 30 年 10 月 20 日～12 月 2 日

南薩地域は、数百万年前の火山の恩恵を受けた金銀鉱物資源の宝庫です。かつては金山等の作業に携わる多くの人々や、内外からの往来によって、地域が大いに栄えた時期がありました。しかし、時代の流れにより、全国的に地域の産業は衰退していきました。そのような中であって、南九州の地において、今日でも鉱山開発が小規模ながらも継続され、資源の少ないわが国の産業の一躍をになっています。特に、日本の金山を象徴する新潟県佐渡金山が操業を休止した現在では、金山の採掘が行われている唯一の地域となっています。

このような豊かな資源を保有し、自然・歴史・文化が共通する南薩4市が一体をなして、「金山」をテーマとした県内でも初の合同企画展を、南薩の地に誇りと愛着をもっていただくことを目的に開催しました。



○古代の女神展 縄文ビーナスと祈りの形
平成 31 年1月 19 日～3月 24 日

平成 26 から 27 年度に行われた南薩縦貫道工事に伴う「牧野遺跡」の発掘調査で、日本最古クラスである縄文時代草創期の「岩偶」、いわゆる縄文ヴィーナスが出土



しました。女神は母性の象徴として、また美や豊穡の象徴としても祀られてきました。

この企画展は、縄文時代から今日までの様々な「女神」に焦点をあて、生命の誕生や再生、航海の安全などの願いや想いを形にした土偶や岩偶、装飾品など、人々の祈りの形を、各地の出土遺物とともに展示しました。

令和元年度

○南九州市知覧麓 日本遺産認定記念企画展
山城から麓へ
令和元年6月1日～8月31日

現在知覧麓の武家屋敷群には多くの観光客が訪れ、県内でも有数の観光地となっています。

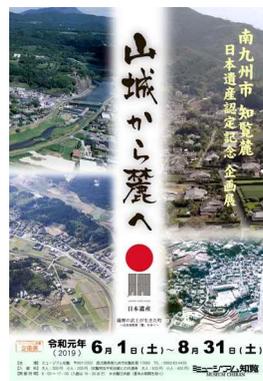
「麓」とは薩摩藩独特の制度で、地方に置かれた役所を中心とした武士の住んでいた地域（武家屋敷群）をいいます。この武家屋敷群は江戸時代に県内各地に築かれ、現在の鹿児島県の文化や風習の基礎となりました。

現在まで脈々と続くこれらの文化が評価され、令和元年5月20日に「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」として文部科学大臣より「日本遺産」に認定されました。

私たちの南九州市には、「知覧麓」のほか「川辺麓」「勝目麓」「額娃麓」の4つの武家屋敷群が残されています。

この企画展は日本遺産認定記念として、麓の成立の基となった戦国時代の「知覧城」「額娃城」「川辺城（平山城）」「勝目城（山田城）」とその麓集落を紹介しました。

城跡に関しては敵の侵入を防ぐ防御施設の跡や発掘調査で出土した中国産・東南アジア産などの陶磁器などを展示し、麓に関しては武士が大切にしていた掛軸や武具などを展示しました。



II. 教育普及事業

1. 博物館講座・教室等

① こども学芸員活動

ミュージアム知覧の講座では、こどもたちに博物館の持つ役割や活動を広く知ってもらおうとともに、地域の歴史や文化財に興味を持つことにより郷土に対する誇りや愛着を喚起し、貴重な文化財を次世代に継承していくことを目的に、平成15年度から「ミュージアム知覧こども学芸員活動」を実施している。

対象は、市内在住の小学校3年生～中学生を対象に定員25名を募集し、原則として年間の活動に参加できる方を対象とし、学芸員証を交付して、その年度中はミュージアム知覧への入館料を無料とする特典があります。

平成29年度（会員数：15名）

●第5回活動「土器をみつけにでかけよう」

講師；ミュージアム知覧学芸員

平成30年1月27日（土）9:30～12:00

場所：穎娃 御領地区

畑に落ちている遺物を拾い、土器なのか石ころなのか確認し、拾った土器等はビニール袋に入れて、拾った日時、場所を記入して、拾った土器等をケースに広げて、鑑定しました。土器や漆器、青磁等色々な時代の遺物を発見できました。古い時代、そこに人々が生活していた跡を見つけることができ、大変喜んでいました。



平成30年度（会員数：20名）

●第1回活動「戦跡探訪」

—今も残る戦争の遺跡を見に行こう—

講師：特攻平和会館 八巻聡 専門員

平成30年7月28日（土）9:00～12:00

場所：旧知覧飛行場跡・旧青戸飛行場跡

知覧特攻平和会館で第2次世界大戦の概要について説

明を受けた後、旧知覧飛行場跡に残る弾薬庫、油脂庫、給水塔跡を見学しました。その後、上別府の戦闘指揮所跡、三角兵舎跡等でも説明を受けました。

旧青戸飛行場跡では戦闘機を隠した掩体壕や敵の侵入に備えたトーチカを見学し帰館しました。子どもたちは戦争の跡が南九州市内に今でも残っていることに驚いた様子でした。



●第2回活動「星空観察会」—夏の星座—

講師：鹿児島県立博物館 鈴木淳 学芸主事

平成30年8月10日（金）18:30～20:30

場所：ミュージアム知覧

初めにフォーラム室で星の成立ちや種類等、概要について解説していただき、観察の方法についても、詳しく説明がありました。

日が暮れて夜空が暗くなったところで、外に出て星空



の観察会を行いました。あいにく、曇り空で、明るい星がまばらにしか見えませんでした。木星や火星、土星などを望遠鏡で見ることができました。

●第3回活動「ふるさと探訪」ー穎娃のまち歩きー

講師：南九州市穎娃町郡地区公民館 中村利和 館長

平成30年10月27日（土）9:00～12:00

場所：穎娃町郡麓地区

穎娃町郡地区公民館をスタートし、証恩寺跡や武家屋敷跡、野町、高札場、鮫島因幡守の宝篋印塔、雪巖和尚の石像、大通寺跡、西南戦争の招魂塚等市指定文化財が多く残る郡麓地区を地図を広げながら1時間30分程かけて散策しました。



●第4回活動「土器を見つけにでかけよう」川辺地区

講師：ミュージアム知覧学芸員

平成31年1月26日（土）9:00～12:00

場所：ミュージアム知覧、川辺町塘之池周辺

川辺町下山田の塘之池地区で、古墳時代の土器を探しました。

土手や畑から多くの土器の破片を拾いました。その後ミュージアム知覧に帰ってきて、採取した土器の破片がどの時代のものか、土器のどの部分なのかの鑑定会を行い、採取した遺物の整理の方法も学びました。



●第5回活動「星空観察会」ー冬の星座ー

講師：鹿児島県立博物館 鈴東淳 学芸主事

平成31年2月22日（金）18:00～20:00

場所：ミュージアム知覧

雨のため、望遠鏡を使った星空観察の予定を変更し、講話や星空早見表作成等を行いました。星空観察のポイントとして、①方位を知ること②目印を覚える③月齢を知る④天気を知る⑤季節の星座を知るということを解りやすく説明してもらいました。また、アニメーションを使って冬の星座はどんなものがあるか等を紹介し、子供たちは大変興味深く聞いていました。

空き缶を使った星座早見表を作りました。これで、家でも簡単に星座の位置が解ります。また、光は色々な色の集まりであることを教えてもらいました。そして、光の分布を見ることのできるスペクトルスコープを作りました。



令和元年度（会員数：14名）

●第1回活動「環状プールと水辺の生き物観察」

講師：高知大学 山岡 耕作 名誉教授

タツノオトシゴハウス職員

令和元年7月27日（土）9:00～12:00

場所：穎娃町別府 番所鼻自然公園

平成31年4月19日に鹿児島県天然記念物・名勝の指定を受けた「溶結凝灰岩の環状プール群」の成り立ちの

説明の後、環状を渡りながらナマコやヒドデ、小魚などを採取しながら説明を受け、タツノオトシゴハウスを見学し、垣瀬浜で磯に残った生き物を採取し観察会を行いました。



●第2回活動「清水文化財ウォークラリー」

講師：ミュージアム知覧学芸員

令和元年11月16日（土）9:00～12:00

場所：川辺町清水 岩屋公園周辺

資料を基に説明を受けながら宝光院跡とその仁王像、清水層塔群、水元神社の薩摩塔、雲朝寺跡、河辺氏居館跡、清水磨崖仏など多くの文化財を巡った。説明を聞いて初めて気づく文化財の色や形の面白さ不思議さに驚きつつも、昔の人々の生活を想像しながら、祈りのある生き方を理解しようとしていました。



●第3回活動「遺跡を見つけよう 知覧地区」

講師：ミュージアム知覧学芸員

令和2年2月15日（土）9:00～12:00

場所：ミュージアム知覧

知覧町厚地の遺跡での土器拾いを計画していましたが、雨天のためミュージアム知覧で、練りゴムを使った「勾玉づくり」と土器片や古銭の「拓本とり」を行いました。

複数の色の練りゴムを自分の好きな形にして、オリジナルな勾玉ができました。その後、画仙紙とタンポ、墨を使って、土器や古銭の拓本をとりました。

昔の人の生活や資料の記録の方法を、楽しみながら学ぶことができました。



② 学校教職員研修・社会科学習等の利用

平成 29 年度

- 2月 中福良小学校 3・4年
 穎娃小学校 6年
 手蓑小学校

- 3月 九玉小学校 3・4年

平成 30 年度

- 6月 知覧小学校 3年
7月 京都大学文学部考古学研修室
8月 新規採用教職員フレッシュ研修
10月 田代小学校・清水小学校 5・6年
11月 青戸小学校 3・4年
 粟ヶ窪小学校 5・6年
 鹿児島大学工学部伝建地区現地研修
1月 穎娃小学校 5・6年
 中福良小学校 3年
2月 宮脇小学校 3年
 九玉小学校 3・4年
 霜出小学校 3年

令和元年度

- 6月 穎娃小学校 3・4年
 知覧小学校 3年
8月 新規採用教職員フレッシュ研修
9月 穎娃中学校 1年
11月 鹿児島国際大学木村先生フィールドワーク
 鹿児島大学工学部伝建地区現地研修
 青戸小学校 3・4年
 松原小学校 4～6年
1月 中福良小学校 3年
 松山小学校 3年
2月 宮脇小学校 3年
 霜出小学校 3年
 九玉小学校 3・4年

③ 各種講演・講座・研修・史跡めぐり等

平成 29 年度

- 2月 宮脇校区子連「史跡めぐり」講師：大山
 手蓑小学校「手蓑地区文化講演会」講師：上田

平成 30 年度

- 6月 紙よろい作り普及会 講師：新地
 地区文化財保護審議会委員研修会
 講師：上田・新地
7月 知覧地区公民館長寿学級学習会「知覧町の歴史」
 講師：新地
 浮辺小学校「総合的な学習時のフィールドワーク」
 講師：大山
 高田小学校「郷土学習フィールドワークの職員研修」
 講師：新地
8月 青戸中学校「フィールドワークの職員研修」
 講師：大山
 宮脇小学校教職員「校区内フィールドワーク」
 講師：上田
 鹿児島市岡之原地域振興会「清水磨崖仏群ほか」

講師：上村

鹿児島県「明治日本の産業革命遺産シンポジウム」
パネリスト：上田

市立図書館「ふるさと探訪～かわなべまち歩き～」
講師：新地

薩摩川内市川内歴史資料館「戦跡が語るもの－知覧
飛行場跡の発掘調査から」講師：上田

川辺町民児協「文化財巡り」講師：新地

川辺地区公民館「かわなべ探検隊」講師：新地

9月 上山田中福良自治会「西郷どんと川辺にまつわる
歴史」講師：新地

古市自治会「敬老会講話」講師：新地

11月 清水小学校「清水歴史探訪」講師：新地

南さつま市教育委員会「南さつまの歴史と民俗 10」
講師：上田

5市行政連絡会議「行政視察清水磨崖仏」
講師：新地

12月 市観光商工課「観光ボランティアガイド育成講座
（知覧城跡）」講師：上田

1月 知覧町ゴールドクラブ連合会「月例会」

講師：新地

穎娃町民児協「穎娃町の文化財について」
講師：上田

薩摩川内市教育委員会「東郷町藤川の製鉄所跡
の現地指導方」現地指導：上田

2月 宮脇校区子ども会育連絡協「宮脇校区子連史跡
めぐり」講師：上村

川辺町史談会「定例会・清水磨崖仏研修」
講師：新地

市立図書館「川辺郷土文化講演会」講演：新地

3月 市立図書館「第7回薩南文化講演会」講演：上田
 杵築市文化財調査委員会視察研修「武家屋敷」
 講師：上村

令和元年度

4月 福永耕二川辺顕彰の会「同会総会講演会」
 講演：新地

5月 川辺中学校「課題解決学習（川辺タイム）」
 講師：新地

7月 （株）上窪組「県道飯山喜入線拡幅工事に伴う
粟ヶ窪小学校児童への地層の説明」講師：上村

川辺地区公民館「かわなべ探検隊」講師：新地

8月 宮脇小学校「校区内フィールドワーク」
 講師：上田
 川辺民児協川辺校区「川辺地域の文化財・史跡」
 講師：新地

9月 （知覧）新町自治会「地元の魅力を探る－山城から
麓へ－」講演：上田

穎娃町民児協「魅力ある穎娃の歴史と景観（第
2弾）」講師：上田

市立図書館「第4回川辺郷土文化講演会」
講師：新地

10月 五十市地区公民館「清水磨崖仏群」講師：新地

11月 清水小学校「地域探検」講師：新地

- 窪壮一郎「石蔵アカデミア講演会」 講師：新地
南さつま農協「JA南さつまカップリングパー
ティ時の岩屋公園の文化財案内」 講師：新地
12月 市立図書館「第10回薩南文化講演会」
講演：新地
松山校区公民館フィールドワーク
「神社・史跡等の説明」 講師：上田
1月 知覧地区公民館長寿学級学習会「知覧の歴史」
講師：新地
2月 宮脇校区子ども会連絡協「宮脇校区子連史跡めぐ
り」 講師：上田
3月 中福良地区ゴールドクラブ講演会（郷土史）
講師：新地

2. 文化財保護普及・啓発事業等

平成30年度

- 11月 南九州市知覧麓伝統的建造物保存地区
シンポジウム「未来につなぐ知覧の町並み」
土田允義（鹿児島大学工学部名誉教授）
鯉坂徹（鹿児島大学大学院理工学研究科教授）
北島力（NPOまちづくりネット八女理事長）
参加者：80人
颯娃城跡と長崎展望台散策バスツアー
参加者：33人

令和元年度

- 6月 鹿児島県指定文化財指定60周年
第1回ワークショップ
「月輪大梵字の秘密 空と水と英彦山修験道」
知足美加子（九州大学大学院芸術工学研究
院准教授）
参加者：48人
10月 鹿児島県指定文化財指定60周年
第2回ワークショップ
「武士のネットワーク 薩摩と京都、東国」
野口実（京都女子大学宗教・文化研究所名誉教授）
「西の境界・薩摩国河辺郡 物・人・信仰の流れ」
柳原敏昭（東北大学大学院文学研究科教授）
参加者：110人
11月 ぐるり山城バスツアー in 南九州市
参加者：68人
2月 鹿児島県指定文化財指定60周年
第3回ワークショップ
「石塔の見方とその歴史」
狭川真一（公益財団法人元興寺文化財研究所副所長）
参加者：17人

III. 調査・研究活動(平成30～令和元年度)

1. 調査活動・調査指導等

- 2018 薩摩川内市藤川天神製鉄遺跡現地指導（上田）
2018 市内遺跡発掘調査事業（国庫補助）清水磨崖仏・
金山水車跡ほか緊急調査による発掘調査
本田道輝（鹿児島県考古学会会長）
中村和美（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
2018 国指定知覧城跡（蔵之城跡）登城口法面補修事
業（国庫補助）五島昌也文化庁調査官
2018 南九州市知覧伝統的建造物群保存地区基盤強化
事業（国庫・県補助）
西山和宏文化庁調査官
2019 薩摩川内市樋脇城跡現地指導（上田）
2019 日置市文化財保護審議会・鹿児島市谷山第三地
区試掘調査指導・薩摩川内市樋脇城跡調査指導
（上田）
2019 薩摩川内市藤川天神製鉄所跡の現地指導（上田）
2019 市内遺跡発掘調査事業（国庫補助）清水磨崖仏
ほか緊急調査による発掘調査
本田道輝（鹿児島県考古学会会長）
中村直子（鹿児島大学埋蔵文化財センター長）
2020 南九州市知覧伝統的建造物群保存地区基盤強化
事業（国庫・県補助）西山和宏文化庁調査官
2020 薩摩川内市隈之城跡現地指導（上田）
2020 出水市出水城跡保存検討委員会（上田）
2020 鹿児島市谷山第三地区試掘調査現地指導（上田）

2. 報告書・図書・刊行物及び市内看板説明等

- 2018 颯娃城跡パンフレット刊行
2018 颯娃城跡説明板2基設置
2018 山脇の板碑説明板設置
2018 清水桜元のかくれ念仏跡標柱設置
2018 中山田のオキチモズク説明板設置
2019 颯娃城案内標識
2019 亀甲城跡説明板設置
2020 颯娃麓地頭仮屋説明設置
2020 番所鼻の溶結凝灰岩の環状プール群標柱設置
2020 南九州市探訪1「山城」パンフレット刊行
2020 清水磨崖仏多言語音声ガイド設置

3. 発表・執筆等

- 2018 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産シンポジ
ウム 黎明館講堂（上田）
2018 「知覧城を歩く」週間「日本の城」No.123
デアゴティーニジャパン（上田）
2018 「知覧飛行場跡における戦跡考古学の現状と課
題」『知覧特攻平和会館紀要』創刊号
（上田・坂元・大山）
2019 「戦国期南九州の城郭 その特性を考える
—九州拠点城郭の到達点—」『鹿児島考古』第48
号 鹿児島県考古学会（上田）
2019 「発掘されたハンセン病患者の住居と聞き取り
調査—知覧飛行場跡の考古学的調査から—」
日本考古学協会 駒沢大学（上田・大山）

IV. 収集活動・資料貸出等

1. 寄託・寄贈資料

① 寄託資料

該当なし

② 寄贈資料

平成 29 年度

- 8854 加治木銭（洪武通宝）
- 8855 雛人形
- 8856 花下遊禽
- 8857 大しだ
- 8858 モスクワの夜
- 8859 万里の長城
- 8860 バラ
- 8861 朝顔
- 8862 M子像
- 8863 （仮題）椿
- 8864 （仮題）赤い桜島
- 8865 （仮題）黄色い鳥
- 8866 孔雀（1匹）
- 8867 （仮題）孔雀（2匹）
- 8868 （仮題）鯉の滝登り
- 8869 （仮題）あけび
- 8870 村永定観 色紙 24枚
- 8871 村永眞理子物語（21～27）7冊
- 8872 村永眞理子氏関係品
- 8873 郷土玩具類（村永定観氏収集）
- 8893 知覧飛行場 返還関係資料

平成 30 年度

- 8874 土人形
- 8875 提重
- 8876 日本木版 浮世絵大鑑・御歌
- 8877 ロサンゼルスオリンピック日本代表ユニフォーム
- 8878 蓄音機
- 8879 煙管他一式

令和元年度

- 8880 洗濯タイ
- 8881 青戸中学校 旧所蔵品
- 8882 田代小学校 旧所蔵品
- 8883 旧薩藩御城下絵図 他
- 8884 掛軸「日本武尊」
- 8885 掛軸「旭日亀図」
- 8886 掛軸「寿老人図」
- 8887 掛軸「竹に鶴図」
- 8888 掛軸「竹鶏図」
- 8889 掛軸「農村図」
- 8890 掛軸「松と帆掛け舟」
- 8891 掛軸「雪景色とふじ山図」
- 8892 掛軸「冬の山図」
- 8894 竹製松模様注口手提重
- 8895 棟札
- 8896 禁札
- 8897 銅鏡

- 8898 神楽面
- 8899 獅子頭
- 8900 猿田彦面（髪付帽子）
- 8901 田の神舞面（髪付）
- 8902 垂落鎌
- 8903 銅鏡入 木箱
- 8904 三光鉾・三光鉾収納箱蓋
- 8905 銅製釣灯籠（円筒形）
- 8906 銅製釣灯籠（六角形）
- 8907 刀用品 他（箱入り）
- 8908 白磁透かし彫り馬上杯
- 8909 青磁福寿文方水注扁壺（箱付き）
- 8910 褐釉獅子香炉
- 8911 高麗青磁象嵌片口鉢
- 8912 和歌扁額
- 8913 飯倉大明神扁額（刻字）
- 8914 琵琶（残欠）
- 8915 小型琴（残欠）
- 8916 青銅製手水鉢
- 8917 鎖・麻布（箱入）
- 8918 釣り針の描かれた板
- 8919 奉納者名板（建物）
- 8920 奉納者名板（祭事）
- 8921 長櫃の蓋
- 8922 寄進板

2. 資料貸出及び掲載等許可

平成 29 年度

申請月日	貸出先（貸出内容）	点数
1月 29日	株式会社平凡社『別冊太陽 伊能忠敬』 「伊能忠敬先生絶賛の地」石碑掲載	1
2月 8日	さつま町教育委員会 第2回鹿児島金山交流会パネル展示 轟製錬所跡古写真 ほか	6

平成 30 年度

申請月日	貸出先（貸出内容）	点数
4月 19日	知覧特攻平和会館 企画展「出撃直前の遺書」「知覧の人々の 戦争と特攻」 三角兵舎跡出土遺物	3
6月 8日	指宿市考古博物館 特別企画展 琉球漆器湯庫	1
6月 13日	吉岡けい子 書籍（仮題 隼人舞が見たい） ソラヨイの写真	1
8月 1日	鹿児島県歴史資料センター 「遺跡でたどる幕末・明治の鹿児島」展 厚地松山製鉄遺跡報告書展示掲載	4
12月 10日	南さつま市歴史交流館金峰 南薩4市合同企画展「黄金の郷南薩 ～日本列島最後の金山～」 カンテラ ほか	23
12月 6日	志布志市教育委員会	

	「南九州の山城と志布志城」展	
2月 4日	知覧城出土金剛製十一面観音像 ほか 枕崎市文化資料センター南浜館 南薩4市合同企画展「黄金の郷南薩 ～日本列島最後の金山～」	3
2月 8日	カンテラ ほか (株)KADOKAWA 村井章介 「古琉球－海洋アジアの輝ける王国」 宝福寺跡写真データ 前畑西遺跡砥石 ほか	23 1 21

令和元年度

申請月日	貸出先(貸出内容)	点数
4月 9日	指宿市考古博物館 南薩4市合同企画展「黄金の郷南薩 ～日本列島最後の金山～」 カンテラ ほか	23
6月 24日	南薩線伝承組織委員会 「南薩線企画展2019 廃止から35年 ～みんなでつなぐ故郷の記憶～」写真展 南薩線(川辺-知覧)写真データ	9
9月 10日	日本貿易陶磁研究会 第40回同研究集会の資料 馬場田遺跡出土陶磁器ほか	93
9月 30日	鹿児島市立ふるさと考古歴史館 特別企画展「磯の地で挑んだ技術革新 ～集成館事業の発掘調査成果展～」 前畑西遺跡砥石 ほか	21
10月 4日	上野原縄文の森 第56回企画展「戦国武将 島津義弘の武と雅 ～考古資料にみるかごしまの戦国時代」展 白磁 皿 ほか	48
11月 19日	指宿市考古博物館 指宿まるごと博物館X「海を見つめた古代人 -イブスキ人の起源-」展 高取遺跡出土壺 ほか	2
12月 3日	鹿児島県民具学会 同会報「鹿児島民具」へ掲載 飯倉神社獅子頭 ほか	2
12月 8日	株式会社パスファインダー 書籍「歴史で紐解く島津一族」 知覧城上空写真	1
2月 12日	平山区自治会 平山区百年の記憶誌へ掲載 「川辺郷地頭仮屋跡」写真 ほか	2
2月 21日	南さつま市歴史交流館金峰 「かごしま茶 近代化とともに歩んだ道」展 茶摘機械 ほか	6

V 統計資料

ミュージアム知覧 月別入館状況

平成 29 年度

	単 独				共 通		招待者及び減免	
	個 人		団 体		大人	小人	入館者合計	
	大人	小人	大人	小人				
4月	89	15	0	0	1,661	92	58	1,915
5月	142	5	0	0	2,776	251	64	3,238
6月	102	3	0	0	1,221	40	105	1,471
7月	122	13	0	0	1,456	128	78	1,797
8月	182	39	0	0	3,139	682	128	4,170
9月	69	2	0	0	2,217	105	105	2,498
10月	125	3	0	0	2,084	55	40	2,307
11月	111	2	0	0	1,656	84	43	1,896
12月	32	1	0	0	775	57	15	880
1月	80	6	44	0	1,233	120	31	1,514
2月	81	0	0	0	1,221	63	74	1,439
3月	195	12	0	0	2,312	171	99	2,789
合計	1,330	101	44	0	21,751	1,848	840	25,914

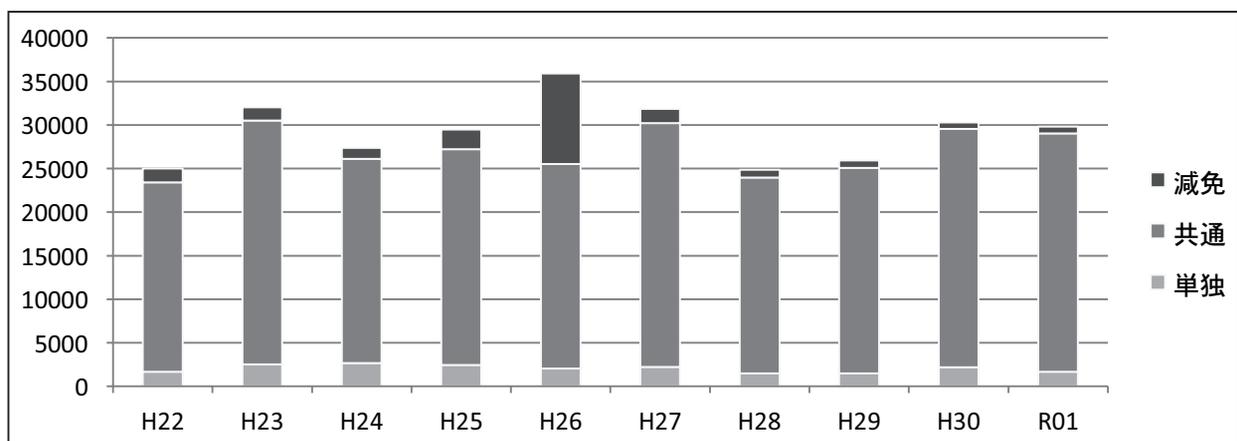
平成 30 年度

	単 独				共 通		招待者及び減免	
	個 人		団 体		大人	小人	入館者合計	
	大人	小人	大人	小人				
4月	191	17			1,953	276	52	2,489
5月	241	8			2,824	177	74	3,324
6月	152	12			1,503	34	62	1,763
7月	138	9			1,707	137	30	2,021
8月	242	30			3,691	739	103	4,805
9月	163	6			2,113	103	32	2,417
10月	130	3		79	2,228	237	110	2,787
11月	163	3	38		2,221	84	108	2,617
12月	125	7			1,261	78	24	1,495
1月	126	9			1,511	100	31	1,777
2月	148	2	51		1,666	55	68	1,990
3月	180	7			2,455	226	54	2,922
合計	1,999	113	89	79	25,133	2,246	748	30,407

令和元年度

	単 独				共 通		招待者及び減免	
	個 人		団 体		大人	小人	入館者合計	
	大人	小人	大人	小人				
4月	140	11			2,989	259	60	3,459
5月	192	19	72		3,830	318	68	4,499
6月	102	4			1,403	71	120	1,700
7月	84	14			1,593	132	63	1,886
8月	189	29			3,016	591	110	3,935
9月	88	3			1,784	77	118	2,070
10月	125	12		51	2,228	120	51	2,587
11月	140	3			2,536	88	83	2,850
12月	65	4			1,128	58	17	1,272
1月	118	6			1,623	112	47	1,906
2月	116	8			1,786	80	81	2,071
3月	72	4			1,905	174	16	2,171
合計	1,431	117	72	51	25,821	2,080	834	30,406

過去 10 年間の入館者推移



VI. 組織等

■ ミュージアム知覧

平成 30 年度

館長 (文化財課長) (兼 頴娃歴史民俗資料館長)	管理係長 松山 啓志	管理係 市坪 耕二
加覧 喜次	文化財係長 上田 耕	文化財係 上村 純一 (学芸員) 新地浩一郎 (学芸員) 大山 勇作 (学芸員)

令和元年度

館長 (文化財課長) (兼 頴娃歴史民俗資料館長)	文化財係長 上野 浩人	文化財係 市坪 耕二 上村 純一 (学芸員) 新地浩一郎 (学芸員) 上田 耕 (学芸員)
朝隈 克博		

■ 南九州市博物館協議会委員

平成 30 年度～令和元年度

本田 道輝	(学識経験者 元鹿児島大学法文学部教授・鹿児島市文化財保護審議会委員)
鮫島 正道	(学識経験者 鹿児島大学農学部客員教授・鹿児島文化財保護審議会委員)
佐多 善徳	(元知覧町収入役)
赤崎 千春	(豊玉姫神社宮司・元知覧町文化財保護審議会委員)
菊永 正三	(観光業者 南薩観光株式会社)
宮原 知見	(元南九州市教育委員会委員 元南九州市教育委員会文化財課長)
永崎 初子	(観光ボランティアガイド)
米満 耕二	(南九州市議会 文教厚生委員会副委員長)



南九州市文化財ガイドブック

各地区 1冊 1,500 円

ミュージアム知覧にて販売

ミュージアム知覧

館報 第16号

編集・発行

南九州市教育委員会 文化財課

(ミュージアム知覧)

〒897-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17880番地

TEL 0993 (83) 4433

FAX 0993 (83) 3055

発行日

令和2年3月31日



ミュージアム知覧
MUSEUM CHIRAN

鹿児島県南九州市